

<p>【部会名】 柏市障害者差別解消支援地域協議会 柏市権利擁護ネットワーク会議における 障害者に関する専門部会</p>	<p>【担当】 障害福祉課 石月・三原・遠藤</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 柏市障害者虐待防止サポートチーム派遣事業</p> <p>(1) 日時：令和7年10月3日(金)午前11時00分～午前12時00分 ア 参加事業所：特定非営利活動法人真ごころ各事業所 イ 内容：障害虐待防止法，県内の虐待傾向，身体拘束，日々の支援等 ウ 講師：社会福祉法人フラット 理事長 林 晃弘 氏</p> <p>(2) 日時：令和7年11月19日(水)午後1時00分～午後3時00分※2部制 ア 参加事業所：豊四季光風園 イ 内容：障害者虐待防止の基礎知識，身体拘束の適正化等 ウ 講師：社会福祉法人まつど育成会 統括施設長 早坂 裕実子氏</p> <p>2 令和7年度第2回柏市障害者権利擁護研修会</p> <p>(1) 日時：令和7年11月20日(木)午後2時00分～午後4時00分 (2) 方式：Web開催 (3) 内容：障害のある方々への合理的配慮の提供と促進（全職員向け） (4) 講師：筑波大学 人間系 助教 大村 美保 氏</p> <p>3 令和7年度第2回柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会 及び柏市障害者差別解消支援地域協議会 日時：令和8年1月13日(火)午後2時00分～午後4時00分</p>	
<p>【今後の活動予定】</p> <p>1 柏市障害者虐待防止サポートチーム派遣事業</p> <p>(1) 日時：令和8年1月29日(木)午前10時00分～午前11時30分 (2) 参加事業所：一般社団法人ウェルシェア各事業所 (3) 内容：障害者虐待防止について（講義）・事例を用いたグループワーク (4) 講師：リトルペガサス センター長 齋藤 菜実子 氏</p> <p>2 令和7年度第2回東葛市町村虐待防止担当者連絡会</p> <p>(1) 日時：令和8年2月13日(金)午後2時00分～午後4時00分 (2) 参加自治体：柏市，松戸市，我孫子市，流山市，野田市</p> <p>3 令和7年度第3回柏市障害者権利擁護研修会</p> <p>(1) 日時：令和8年2月17日(火)午後2時00分～午後4時00分 (2) 方式：Web開催 (3) 内容：ユニバーサルデザインについて</p>	

【部会名】 柏市障害児等医療的ケア支援連絡会	【担当】 社会福祉法人ワーナーホーム たんぽぽセンター 渡部
【開催報告】 1 「防災について」事業所との勉強会（柏市肢体不自由児（者）を育てる会主催） (1) 日時：11月14日（金）10：30～12：00 対面による開催 (2) 参加：柏市肢体不自由児（者）を育てる会、柏市障害福祉課、福祉政策課、生活介護事業所（いずみ園、生活介護デイサービスたいよう、ザザビー・ドゥ、生活介護オレンジ、ページブル高田）、柏市くらしコーディネーター (3) 内容 ア 事前アンケートに沿って各事業所の防災について情報共有 イ 福祉避難所の状況について ウ 個別避難計画について エ 今後の取り組み ・柏市防災福祉K-Netの仕組みや福祉避難所についての勉強会を行う 2 東葛圏域医療的ケア児等支援担当者会議 (1) 日時：11月18日（火）14：00～16：00 対面による開催 (2) 参加：我孫子市、柏市、流山市、野田市、松戸市の行政、医療的ケア児等コーディネーター (3) 内容 ア 事前アンケート報告 ・医療的ケア児等コーディネーターの配置について ・協議の場の設置について ・社会資源について ・防災対策について イ グループワーク ・行政と医療的ケア児等コーディネーターに分かれ、テーマを決めずに各市の医療的ケアに関する状況の共有、支援をしていく中での困りごとを話しあった。	
【今後の活動予定】 1 全体会 2026年1月以降、年度内に開催予定 2 くらし部会との共催で医ケアがある成人の社会資源について意見交換の場を設けていきたい。	

【部会名】 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業	【担当】 社会福祉法人ワーナーホーム たんぽぽセンター 上野
【開催報告】 1 実務者会議の報告 (1) 第2回：10月22日(水) 15:00～17:00 対面による開催 参加者 21名 ア 令和7年度 柏市「にも包括事業」の取組報告(中間報告) <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングの活動について ・初石病院 地域意見交換会について ・柏市こころの健康市民講座「ここサポ」研修について ・今後の研修会の予定について(情報提供) イ グループワーク 議題「退院時支援について ～退院時に、地域から医療機関に聞きたいこと、 医療機関から地域に求めること～」 (意見交換) <ul style="list-style-type: none"> ・地域としては、退院時に見守り体制を整えてほしい。クライシスプラン作成時にリスクも想定しておく必要がある。 ・地域移行に繋ぐ際、本人の希望を一定程度把握した上で地域に繋いでほしい。 ・医師は地域支援の実務や制度に詳しくないことが多く、単発の情報共有では理解が難しいため、継続的で簡潔な情報提供が望まれる。情報共有ツールを導入している事業所もある。 2 ワーキングの報告 (1) 第3回：11月26日(水) 15:30～17:00 対面による開催 参加者 7名 ア 柏市の小・中学生の困りごと相談の実際について 児童生徒課安達先生より現状の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・STANDBYを通して相談が来る。相談件数は1日20～30件。連休明けには80件以上の相談が入っていることもある。相談者は中学生が多い。 ・相談内容は、希死念慮、SNS関連のものが多い。家族に関する相談もある。 ・対応が必要と判断したケースに関しては、各学校や支援機関と共有。教員やスクールソーシャルワーカーが主に対応している。 イ 若年層の支援機関へのヒアリングについて <ol style="list-style-type: none"> ①ヒアリングの時期：次年度(令和8年度)実施 ②ヒアリング対象機関： <ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども相談センター、 	

あいネット、社会福祉協議会に聞き取りを行う

③ヒアリングの方法と内容について

- ・ヒアリングの方法：対面
- ・ヒアリング内容：今後検討する

3 研修会の開催報告

(1) 初石病院研修会

日時：10月10日（金）15：00～17：00

場所：初石病院ガーデンホール

参加者：23名

ア 初石病院見学（E病棟、開放病棟、グループホーム元気ハウス）

イ 意見交換会

- ・病院紹介

初石病院の入院の受け入れ、入院相談時に確認していることの説明

- ・質疑応答・意見交換

(2) 「くらし部会・にも包括・支援者研修会」合同研修会

日時：12月16日（火）14：30～17：00

場所：ウェルネス柏 4階研修室

参加者：78名（予定）

研修名「精神障害の基礎知識と対応方法」

講師：国際医療福祉大学成田看護学部

精神看護専門看護師 公認心理師 森内 加奈恵 氏

【今後の活動予定】

1 コア会議

(1) 第3回：令和8年1月28日（水） 対面による開催

(2) 第4回：令和8年2月25日（水） 対面による開催

2 実務者会議

(1) 第3回：令和8年3月25日（水） 対面による開催

3 ワーキングチーム

(1) 第4回：令和8年1月21日（水） 対面による開催

4 代表者会議

令和8年2月5日（木）15：00～17：00

対面とZOOM併用によるハイブリット開催

5 その他

にも包括・かしまる共催による研修会（予定）

令和8年2月19日（木）17：30～

【部会名】 柏市地域生活支援拠点運営協議会	【担当】 障害福祉課 石月・三原
【開催報告】 1 柏市地域生活支援拠点運営協議会 第2回：1月19日（月）対面による開催 (1) 柏市地域生活支援拠点運営協議会委員改選及び柏市自立支援協議会への委員推薦について 事務局案として、引き続き松井会長に委員を推薦。協議会全委員の賛同を得たため、承認された。 (2) 各分野と地域生活支援拠点の連携と課題について 4拠点より相談分野，くらし分野，はたらく分野，こども分野それぞれにおいて，課題が示され，それを踏まえて(3)にて意見交換行った。 (3) その他，地域生活支援拠点に係る意見交換 ア グループホームが合わず，自宅で過ごしている障害者もいる中で居宅サービスの社会資源が減少している現状がある。そのため，ヘルパー事業所だけでなく，複合的に支える仕組みづくりを，拠点事業所を中心に構築できればよい。拠点職員の訪問を嫌がるケースについては，民生委員に訪問を依頼することもある。 イ 一人暮らしの体験機会について。一人暮らしが可能か，アセスメントする場所が欲しい。困難な状況でも一人暮らしを継続している方も多く，一人暮らしを行う中で必要性の見極めもできるのではないか。 ウ 放課後等デイサービスの利用について，現在，ローラー作戦で事業所探しをしている現状がある。幼少期から利用していると，中学を卒業しても利用継続する方も多く，サービスが終了するケースが少ない。学童保育の代わりになっているケースもある。3歳児健診での指摘は4%であるが，3～4歳の受給者証の所持の割合は10%と解離がある。親としてはより良い環境を提供したい，という意識もはたらいっているのかもしれない。教師や保育士から事業所を勧められる場合も多い。適正に勧めているのかは疑問。 エ 就労選択支援について，まだ拠点への問い合わせは少ない。そのため，まだ相談があった際のノウハウが乏しく，近隣市町村と情報共有していく必要がある。	
【今後の活動予定】 1 令和8年度の柏市地域生活支援拠点運営協議会は年2回を予定。第1回目は5月頃の開催を予定している。	